

2022年邦人被害概況

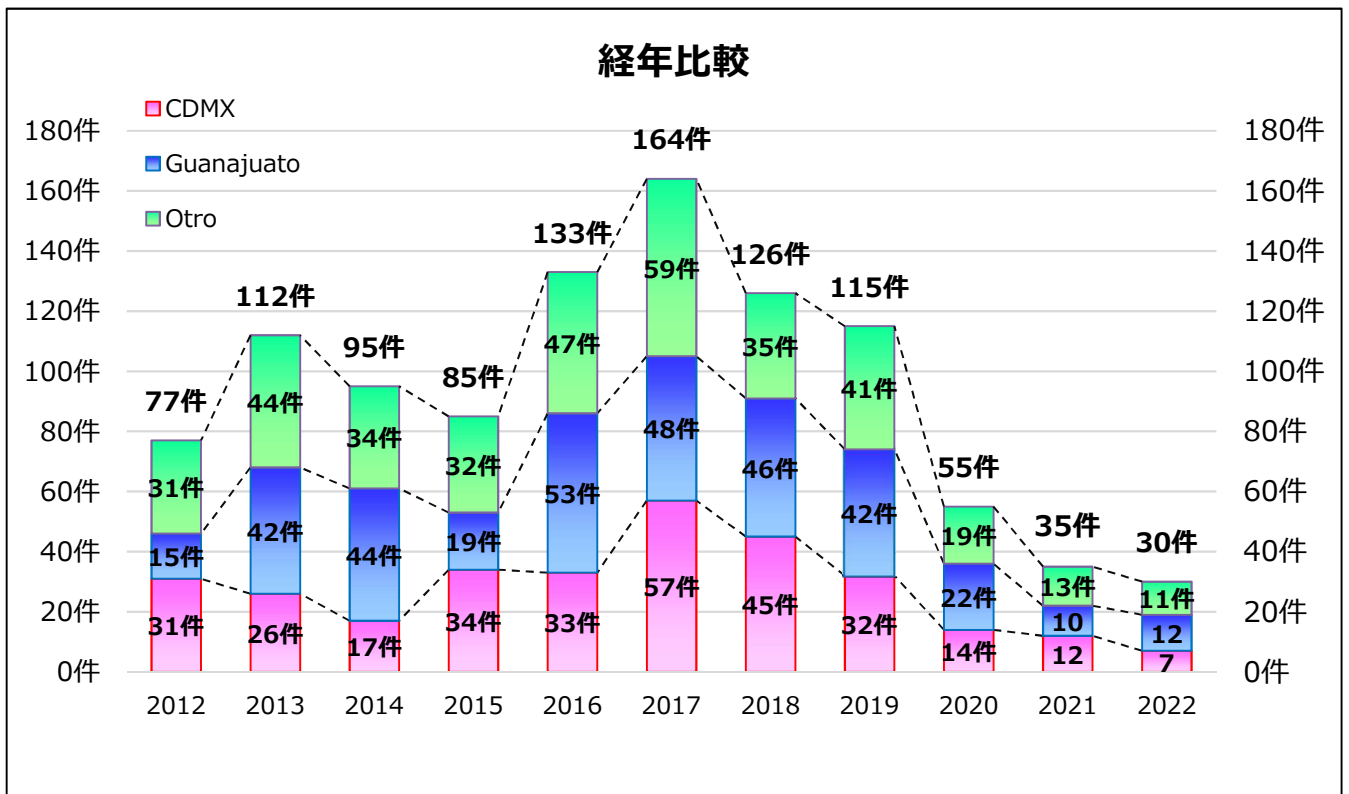
1 被害の特徴

(1) 全体的特徴

ア 2022年、在メキシコ日本国大使館及び在レオン日本国総領事館に届けられた邦人の犯罪被害件数は30件であり、2017年の164件以降減少傾向にあり、過去10年で最少となった。他方で、メキシコ政府が発表した2022年の総犯罪件数は過去10年で最高であった。

イ 罪種別では、最も多かった被害は窃盗の15件である。次に強盗被害が10件であり、窃盗と強盗で被害全体の約83%を占めた。全体の被害件数は減少したものの、強盗被害の割合が33.3%と約三分の一を占めていることから、引き続き十分な注意が必要である。

ウ 発生地域別では、メキシコ市が7件（前年比5件減）、グアナフアト州が12件（前年比2件増）で、両地域における被害が全体の6割以上を占めている。その次に件数が多いのがハリスコ州4件、サンルイスポトシ州の2件である。



(2) 地域別特徴・傾向

ア メキシコ市

(ア) メキシコ市における10件の被害の内訳は、窃盗4件（すり4件）強盗1件、詐欺2件。

(イ) 窃盗被害はすりが最多で、2件は電車の乗降時（満員状態）の被害、2件は不特定多数の者が集まる場所での発生であった。

(ウ) 強盗被害は、比較的安全と言われているポランコ地区において、ナイフを突きつけられ所持品を奪った事案。

(エ) 詐欺被害は、見知らぬ白人男性から「財布を落とし、手持ちの金がなく困っている」と相談され貸したもののそのまま逃走された事案であるが、同種被害は、コロナ禍前に邦人女性旅行者が数件被害に遭

っている。もう1件の被害は、銀行員を騙り銀行口座を操作させ、犯人の口座に送金させる事案であり、被害者の氏名、生年月日、口座番号等を犯人に知られていた。

イ グアナファト州

(ア) グアナファト州における被害は12件(前年比2件増)で、被害の内訳は、強盗6件(全国1位)、窃盗5件(車上狙い5件)、暴行1件であった。

(イ) 強盗被害は、車両走行中または乗降時の発生が4件で、その手口はタイヤをパンクさせ強制的に停車させる事案、併走した犯人車両が銃を見せつけ、停車するよう指示する事案、渋滞中にバイクに乗った犯人にけん銃を突きつけられる事案等であり、6件中5件がけん銃使用、1件が刃物使用であった。被害者が抵抗の意思を示さなかった事案は、金品強奪のみで怪我はなかった。

ウ その他の地域

ハリスコ州が4件、キンタナ・ロー州、サンルイスポトシ州が各2件、ケレタロ州、バハカリフォルニア州、プエブラ州が各1件となっている。

10月、ハリスコ州において邦人出張者3名が借り上げ車両にて走行中、5人組が乗車した車両がけん銃を突きつけ威嚇しつつ、前方を塞がれたため停車させられ、手足を縛られた上に人気のない場所で下ろされ金品及び車両を強奪される事案があった。被害者らは抵抗しなかったため怪我はなかった。

2 被害の内訳等

(1) 届出件数

30件(前年比-5)

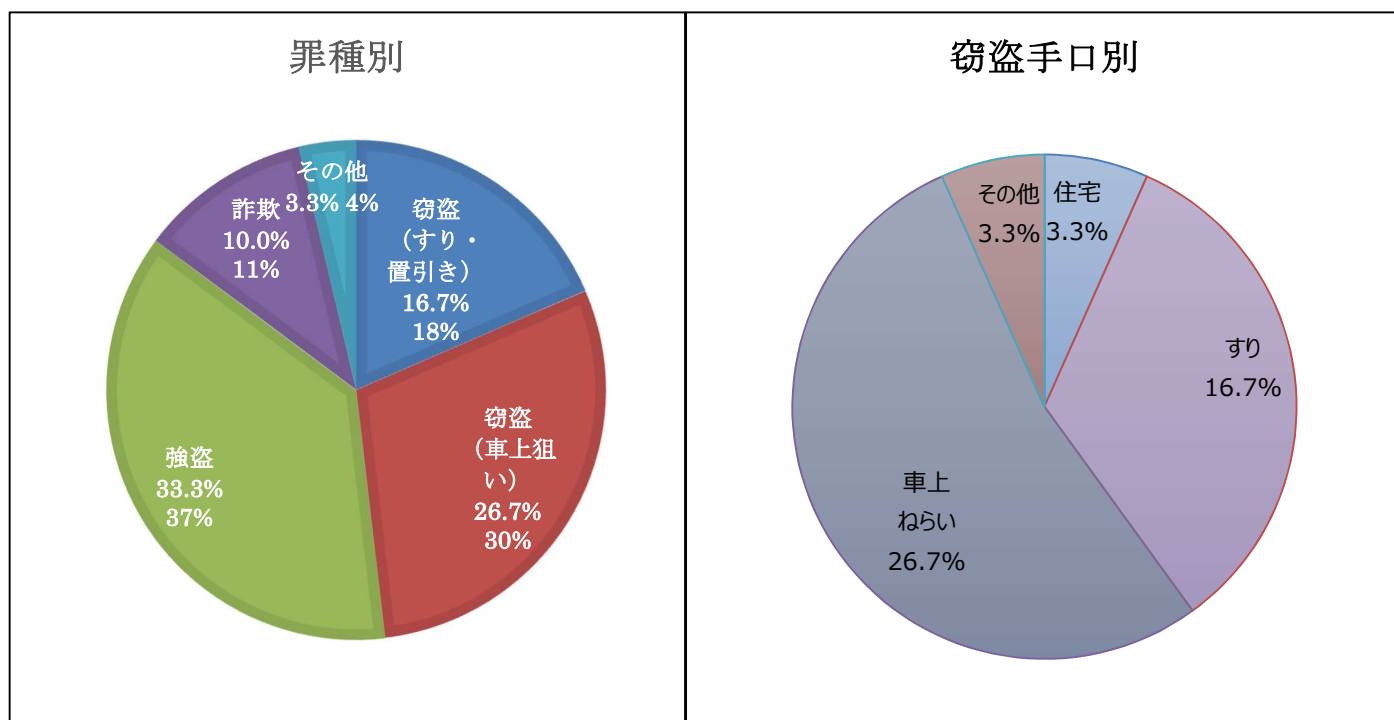
本集計は当館に届け出があった件数であり、昨年に比べ届出件数は大きく減少している。しかし、軽微な被害のために大使館に届け出をしていないケースがあることも考えられ、実際の被害件数はこれより多い可能性がある。

(2) 犯罪手口

	2022年	2021年	2020年	2019年
窃盗	15件	16件	27件	60件
※うち、車上ねらい	8件	7件	12件	23件
置引き	0件	2件	7件	16件
すり	5件	3件	0件	4件
空き巣等侵入盗	1件	2件	5件	10件
その他窃盗	1件	0件	3件	5件
強盗	10件	13件	16件	32件
詐欺	3件	2件	5件	9件
殺人	0件	1件	0件	0件
暴行・傷害(発砲を含む)	1件	0件	5件	2件
脅迫・恐喝	1件	2件	3件	11件
その他	0件	1件	2件	1件

強盗被害件数は10件、このうち凶器を使用したケースは9件で、けん銃使用は5件であった。被害発生時間帯別では日中(午前7時から午後6時)7件、日没後(午後6時から午後9時)3件であり、昼夜問わず発生している。犯人に抵抗すると生命にかかわる危険な状況となる可能性が高いため、決して抵抗してはならない。

強盗の手口としては、自動車運転中の被害が多く、また駐車場や路上での被害も多く発生していることから、移動時には十分に注意する必要がある。



(3) 発生場所別

路上	10件
駐車場	8件
自宅・事務所	4件
運転中	2件
交通機関内	2件
自宅	2件
店舗	1件
その他 (不明)	1件

(4) 被害者別 (複数被害者がいる場合もあるため、被害件数とは一致しない。)

長期滞在・永住者	16名 (-15)	男性: 13名 (-12)、女性: 3名 (-3)
短期出張者	2名 (+2)	男性: 2名
短期渡航者 (観光)	2名 (±0)	男性: 1名 (-1)、女性: 1名 (+1)

被害の詳細については、「邦人被害一覧(2022年)」をご参照ください。(被害者から許可を得たもののみ掲載)